



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランドメゾン六万休町計画 新築工事		
建設地	天王寺区六万休町		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,331.43 m ²		
建築面積	439.84 m ²		
延床面積	7,627.82 m ²		
構造/階数	RC造 / 地上25階		
完了年(予定)	2029年2月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

A
BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 69%
④上記+ 69%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	2.9
温熱環境	3.9
光・視環境	3.5
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.4
耐用性・信頼性	3.3
対応性・更新性	3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境	3.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.2
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化への配慮	4.2
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合	外皮性能の向上による室内環境の快適性や空地部分の緑化による景観形成など、総合的な環境性能に配慮した計画である。	特になし
Q1 室内環境	ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地や通路の空地を設けることにより、風の通り道を確保している。
LR1 エネルギー	外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行っていない。
Q2 サービス性能	免震装置を採用している。	
LR2 資源・マテリアル	再利用可能なユニット部材や躯体に高強度材料を採用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.2 CO2排出率69%
配慮事項	高効率な設備機器の採用によりCO2の削減に配慮している。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0 外構緑化指数96.34%
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	4.0 日陰水平投影面積率49.54%
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0 地表面対策面積率163.6%
配慮事項	植栽による良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0 レベル4を超える水準の断熱性能を満たす。
配慮事項	断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0 BEI:0.66
配慮事項	高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.66	0.66	-